

# 九里学園高校 陸上部



## 部活とは心を育てること。

部活とは人育て、人育てとは心を育てること。  
本当の意味での「強さ」が陸上部をさらに、強くする。

### 部活動は人育て 思いやりの心を大切に

満開の桜が咲く広い競技場で元気の挨拶の音が響きわたっていた。

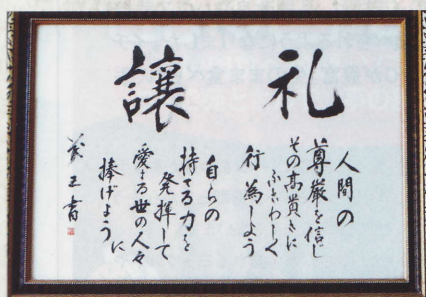
九里学園陸上部といえは知っている人も多いだろう。女子校時代からインターハイ常連校として伝統のある部活である。共学となつた今でもその伝統は受け継がれている。四月二十七日現在の部員数は男子三十一名、女子二十五名、マネージャー三名で活動している。そして、顧問二名とコーチ一名が指導にあつている。

女子校の時代から顧問を続けて今年四十七年目になる本田米子（ほんだよねこ）先生は「部活とは人育てである。人育てとは心を育てることである。」とおっしゃっていた。その想いは、創設者である九里とみ先生の教えである「深く豊かな教養、美しい心、そして本当に役に立つ生活の技（わざ）をしっかりと身に

つけた、自立した人間を目指す教育」に繋がっている。九里とみ先生の教育への想いは、※『共同和楽』や礼・譲として、今も九里学園の教育の柱となっている。それは、授業の中だけでなく部活や、生活に伴う生きるための強い力となつてきているだろう。

競技場に入った瞬間、その教えを目の当たりにした。生徒たちの大きな挨拶が響き渡る。そして、その大きな声の中にOBである卒業生も三名いた。時間があるときは多くのOBが、自分の練習と在校生のために手伝いに来ているようだ。

顧問である原田隆弘（はらだたかひろ）先生は「本田コーチ、米子先生と出会って陸上に対する考えが一八〇度変わりました。それまでは結果を出すのにフォームなどを気にしていました。それが九里陸上部の『人育て』という想いを知ったことで、心なのだと知りました。両先生のその想いが「帰ってきた場所」になるのだと思います。そして、それが結果としても出てくるのだと思います。」と話してくれた。現在男子キャプテン三年、飯澤賢人（いひざわけんと）くん、女子キャプテン三年、菊地葵（きくちあおい）さんの「キャプテンとして、部の雰囲気を作るべくすること、みんなの意見をまとめることを大切にしている。」という言葉には、思い



※ 共同和楽…「人間の尊厳を信じ、その高貴さにふさわしく行為しよう、自らの持てる力を発揮して愛する世の人々に捧げよう」という九里学園の教育方針の柱